

# みな リハ

医療法人芙蓉会 南草津病院  
地域リハビリテーション情報誌  
第42号 発行月 2022年7月

## 今年も厳しい夏がやってきました！

今年は6月から全国的にも気温が高く、30度を超える日が続いています。皆様、今年も夏バテや熱中症に気を付けてくださいね。

新型コロナウイルスの感染者も徐々に減少してきている状態ですが、引き続きも実践していきましょう。

## 熱中症について



熱中症とは！？

高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

### 熱中症対策

#### 屋内

- ・エアコン、扇風機等で室内の温度を調整
- ・カーテン、すだれの使用
- ・こまめに室温チェック



#### 屋外

- ・日傘や帽子の使用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・水分補給を怠らない



※コロナウイルス感染対策でマスクの着用が習慣化しています。厚生労働省から会話がない場合は屋外でのマスクの着用は必要ではないと発表されました。時と場合に応じた感染対策を行い、熱中症予防も実施していきましょう。

## 人事異動の報告

### 地域リハ課

田中啓太

約2年間通所リハビリと訪問リハビリに関わらせて頂きました。この2年間でたくさんの方との出会いがありました。また病棟ではわからない退院後の生活を実際にみて学ばせていただきました。

病棟勤務では、2年間で学ばせていただいたことを、活かしていきたいと思っております。2年間ありがとうございました。

### 異動

### 院内

木村安結

以前は回復期病棟を担当させていただいていました。今までの経験を踏まえながら、皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお祈りします。

林杏耶佳

6月から外来兼訪問リハビリをさせていただくことになりました。皆様と楽しくリハビリが出来るように努めたいと思っています！是非気軽にお声掛けください。

## 地域リハビリテーション課より関係者各位へお知らせ



**2022.6.21 (Tue) 17:30～18:00**  
**6度目**となる**ZOOM**を用いた**ケアマネジャー様との合同勉強会**を開催致しました。  
**「ご自宅での入浴評価」**のテーマで、理学療法士の川勝昭郎が症例発表をさせて頂きました。  
 今回は**総勢27名**のケアマネジャー様にご参加頂き、誠にありがとうございました。次回は**10月を予定**しております。

蒸し暑い6月が終わり、7月の日差しがジリジリと照りつける季節がやってきました。新型コロナウイルスの感染症との戦いも3年目を迎えましたが、まだ油断できない日々が続きますね。  
 私共、地域リハビリテーション課のメンバーも感染予防対策を徹底しながら、日々訪問・通所リハビリおよび外来リハビリを提供させて頂いております。  
 「石の上にも三年」という諺があります。医療や介護の現場ではまだまだマスクを外せませんが、いつか好転の芽が出ることを信じて精進していきます！

# み な り ハ

地域リハビリテーション情報誌

2022年7月

第42号

## ★ ★ ★ 通所・訪問リハビリテーション共通のTOPIX ★ ★ ★

**8月、ユニフォームがモデルチェンジとなります！ 院内から異動の新メンバーも、ご覧のような姿で皆様のごところに訪問します！ どうぞ、お見知りおきを！！**

作業療法士  
八釣航平  
(やつりこうへい)  
です。

テニスで  
培った  
集中力で  
頑張ります！



グレイ

作業療法士  
木村 安結  
(きむらあゆ)  
です。

昔はボート部  
だったので  
体力には  
自信が  
あります！



アイボリー



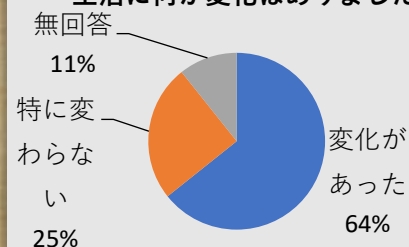
ネイビー長袖

## 通所リハビリテーションからのお知らせ

令和3年度 通所リハビリ満足度アンケートを実施しました。  
 アンケートは令和4年3月に利用されていた利用者29名に配布し28名から回答がありました。  
 通所リハビリについて、職員の対応、施設の設備、リハビリメニューの内容についてはとても満足、満足、普通と回答された方が9割以上となりました。

利用前と生活に変化があったかどうかについては半数以上の方が、変化があったと答えられ、その内容は「車椅子から歩行器になった」「杖無しで歩けるようになった」など、歩行が改善したという内容が多かったです。  
 90分という短時間の通所リハのため、比較的自立度の高い利用者が多いのですが、その中でも、移動手段である歩行能力の改善は生活に変化をもたらすことができました。

利用前と比べ、ご自宅での動作や生活に何か変化はありましたか？



自宅でのリハビリは病院のような設備はなく、訪問リハビリの時間も週に1、2回の頻度で1回40分～60分など限られてきます。その反面、生活に直結した様々な目標設定とその動作練習、課題に取り組むことができます。今回はその一部を紹介させていただきます。

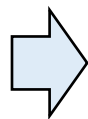
### 例 近所のスーパーに買い物に行く！！

こんなことを考えてリハビリを実施させていただきます。

- **買い物カートや歩行器を使用した歩行の安定性はどうか**  
坂道、凸凹道の歩行が行えるか、方向転換は安全か、信号を渡り切ることができる歩行速度かどうか など
- **自宅からスーパーまでの距離**  
実際の歩行距離を把握し、歩けるかどうか、休憩を挟むことで歩くことができるか など
- **スーパーの中を1周することが出来るか**  
スーパーの広さの把握、距離だけでなく、人と人の間をすり抜けて行くことが出来るか、右回りなのか、左回りなのか など
- **想定される動作が可能かどうか**  
筋力は十分か、玄関の出入り、前に屈んでものを取る、手を伸ばす、買い物カゴをレジに移す、お金の管理 など
- **歩行器自体の選定**  
道路の状況によりタイヤの大きさなど考慮、椅子としての機能の有無、持ち手の高さをどの程度にするか、物を入れるカゴの有無 など

目標を明確にして  
重点的に関わって  
いきます

その他、こんなことにも  
積極的に関わっていきます



- 自宅のお風呂に入る
- 病院を受診するための車の乗り降り
- 料理や書字
- 自転車に乗る
- 介助者への介助方法の指導 など

【“くらしと生きがいを再建！”あなたに寄り添うリハビリチーム】

医療法人芙蓉会 南草津病院 地域リハビリテーション課

〒525-0059 滋賀県草津市野路五丁目2番39号

TEL:077-562-2239 FAX:077-562-2253

